

Session 1

ペットと話せるだけのツールではない アニマルコミュニケーションとは？

岡安 こんにちはアニマルコミュニケーションプログラム hug★をご覧いただきまして、誠にありがとうございます。
ナビゲーターを務めさせていただきます岡安です。

岩本 同じくナビゲーターを務めさせていただきます岩本です。

りこ 大河内りこですよろしくお願い致します。

一同 よろしくお願ひしますお願ひします。

岡安 ということで、アニマルコミュニケーションプログラムということですがけれど
アニマルコミュニケーションってどんなイメージですか？

岩本 いやその読んだら動物と会話できるってことですよ？

岡安 そうですね、実際にそれでいいのでしょうか？りこさん？

りこ そうということです。

岡安 そんなことができるんですか？

りこ できます。

私大学で英語を専攻してたんですね。

で、凄く英語に興味あったんです。

で、その後結婚してから夫の赴任でオーストラリアに4年間いたんです、英語使う場所なんですね。それでも今英語できないです。

それだけ時間とお金と好きなことをやったのに対して出来なくって、なのに動物話の方が簡単です。

岡安 そうなんですか？でも、英語を話せる人と動物語が話せる人だったら圧倒的に英語話せる人の方が多いですよ？

りこ そうですよ、やっぱねそこがちょっと違うんですよ。

岡安 これ楽しみですね？

岩本 楽しみです。
動物と会話できるのってもう常識を超えてますよね。

りこ もう外国語習得に断念した方、ぜひ動物語習得してみませんか？

岡安 はい、外国語よりも簡単なペット語ということですね。
ということでペット語が話せる講座ではあるんですけども、まず初めに
お願いがございます。

うちの子は家族ペットなんかじゃないし、私も飼い主なんて思ってませんこんなふう
に考えている方も多いと思います。

ただこのアニマルコミュニケーションプログラム hug★ではより多くの方に
分かりやすいように、『ペット』『飼い主』という言葉をあえて使用させていただ
いております。予めご了承の上ご覧いただけたらと思います。

そしてアニマルコミュニケーションプログラム hug★では、体験プレセミナー
を開催しております。

この体験プレセミナーでは、アニマルコミュニケーションプログラム hug★の
講座の一部が体験できます。

そしてハートの瞑想というりこさんの瞑想が実践できるんですよ。

さらにペットと話すことで、あなたの未来が輝き出すステップこういったこと
を公開する。

盛りだくさんの内容となっておりますので、ぜひご参加いただけたらと思いま
す。

お申し込みはこの動画のページからお申し込み頂けますのでぜひご参加くださ
い。

それでは Session 1 ということで、『ペットと話せるだけのツールではないア
ニマルコミュニケーションとは？』からスタートさせていただきたいと思いま
す。

この動画をご覧になっている方は、

- うちのコの本当の気持ちが知りたい
- お空に還ったコが忘れられない
- うちのコの望みを叶えてあげたい
- 一緒に時間をもっと楽しくしたい
- うちのコに何かあったらと思うと不安でいっぱい

こんなペットちゃんへの愛に溢れたお気持ちではないでしょうか？
岩本さんどうですか？

岩本 実は僕猫を8匹飼ってまして、猫がとても大好きなんですよそうなんです
なんで今回そのアニマルコミュニケーションを学んで、8匹と会話ができると
なると今後の僕の人生をただ左右する出来事になると思うんですね。
今回は楽しみにしております。

岡安 ということで、岩本さんが猫ちゃんが8匹飼っているという大の猫好きという
ことですが、皆さんもねお家のペットちゃん大好きですね。
実はペットはあなたを選んでやってきています。
ペットと会話できるということを超えていることをお伝えするのが、このア
ニマルコミュニケーションプログラム hug★となっております。
なんと、ペットからのメッセージであなたの未来までが輝き出すそんなりこさ
んのアニマルコミュニケーションの世界へようこそ

早速、りこさんのプロフィールをご紹介させていただきたいと思います。
大河内りこさん、りこさんは、アニマルコミュニケーションを科学するコミュ
ニケーター育成のプロフェッショナルであり、ヒプノセラピストでもあられます。

これまでに独自のアニマルコミュニケーション習得メソッドを延べ2000人以上
に提供してきました。

科学的なアニマルコミュニケーションとセラティの指導は初心者から認定者ま
で定評があります。

第三十五回日本再認学会学術大会にてペットロス解消の事例を学会発表され
ています。

著書に『その子はあなたに会うためにやってきた』（青春出版社）

そして、『うちのコを幸せにするたった一つの約束』BAB ジャパンがあります。
現在大活躍されているりこさんですけども、どうしてペットと話せるという
アニマルコミュニケーションの世界に進まれたのでしょうか？

りこ はい、私はですね、小さい時から何かが見えたとか聞こえたとかそういうこと
は一切ない本当に普通に暮らしてきてたんですね。

ただ小さい時から動物は大好きでした。
小さい時の夢はムツゴロウさんのところに弟子入りするっていうことだったんですよ。
それくらい動物は好きだったんですが、よくあるあの「フェアリーが見える」とか「樹の精とお話ししてました」とか、そういう素敵なストーリーは私には一切なくてですね、あの普通に主婦として、そしてまあ二人の子供の母親として暮らしてきてたんですね。

で、そこで犬が飼いたいと私以外の家族3人が言い始めまして、犬か、いやこれ子供三人目が家にやってくるっていうことでしょうか？って思った時にすごいこう責任感がこうやってきて、なかなかこういいよとは言えなかつたんですよ。

だけれども、下の娘が小学校に入った時に、「ちょっと手を離れるし、確かにワンコがいたら楽しい生活だろうな」っていうそんな安易なところからペットショップ巡りを家族でやりまして、「今朝ブリーダーさんから来たばかりのフレンチブルドッグが6匹いますよ」っていうことで、そのコを私ではなくって娘がこのコが良いって言って決めたんですよ。

で、そのコを迎えることにしました。

ところがですね、箱の中にいた6匹のフレンチブルドッグはとっても可愛かったのに、家に連れて帰ったらなんと悪魔に変身するではないですか。

そんな体験ないですか？もう捕まえられないんですよ、子猫ちゃんとかだとね動いたりって？もう、その十倍ぐらいやんちゃで、抱っこして何かをしようとかっていうのもできなくて、首輪しましょうと思っても首輪もできないから、これ困ったと思って検索するわけですよ『しつけ教室』っていうものを。

そしたら私が、「あっこの先生いいかも」と思ってヒットしたのが、小雪（りこさんのペット）をその先生のところにとすのではなくて、私がドッグトレーニングを学んで、それを小雪に施すことで小雪のトレーニングをやっていくっていうそういう形のトレーナーさんだったんですね。

なので、そこから全く捕まえられない子犬を1歳ぐらいまでに、もうびっちりトレーニングをして、訓練試験とか出てました。

2年間ドッグトレーニングにはまっちゃったんですよ。

何もできないコと一緒に何かこうワンちゃんに教えて一緒にこうできるようになるっていうことがすごく楽しくって、もうハマりにハマりました。

まあそんな風に普通の毎日が過ごしていたんですけど、ある時もう凄い体調が悪くなっちゃったんですよ、小雪が6歳の時でした。

そのときに何が起こったかっていうと神経症状が出て、『てんかん』発作起こ

すワンちゃんとかいると思うんですけど、そんな感じで全身こう神経症状が出て、もう私は勿論もう見ているしかなくて、何もするすべがなく、獣医さんにその時三人掛かってました。

自然療法をやったださる獣医さんと普通の一般診療と、あと鍼灸とかをしてくださる獣医さんと三人掛かって、そして当時私はあのすぐこうマクロビオティックにもはまっていて、こう健康のことも凄く学んでたんですね。

自然療法が凄く好きで、その自分が知っていることを全部小雪にやり、そして三人の先生から指示されることをやり、でも三人のうちほぼ二人の獣医さんは「もうこの状態だとちょっと難しいです」っていうことで、匙を投げられてしまったんですね。

それでも私はこの子絶対に失いたくなかったんです、どうしても。

もう「私のこの毎日は、このコのためにある」っていう感じで、もうこゆちゃん絶対マミィを置いて行かないでっていうのを本当にこう伏せてるワンちゃんの前で私は言葉に出して、そうやって絶対マミィを置いて行かないで、お願いだから一人にしないでって、絶対にここから救うからってマミィは何をやればいいのかっていうことで、もう知ってることできることを本当にやりました。

そうしたら、ある程度命が助かるっていうところまでは救われたんですよ。だけれども、その時にまだ後遺症が残ってました。

どんな状態かっていうと、この写真に出ている小雪は晩年の小雪なんですけれども普通フレンチブルドックだと思うんですけど、ちょっと想像してみてください。

頭だけが骨と皮だけになっちゃった頭だけです。

体は筋肉質でこのまんまなのに、ここら辺のお肉とかだけ。

だから撫でててもゴツゴツしてるし、見た目にも全然こうかわいいとは言えないような、そんな後遺症が残ってたんですね。

だけど私はこの子が命を取り留めてくれて、生きてくれてるだけでもそれで満足だったんです。本当にもう死ななくてよかつ助かってくれて戻ってきてくれて本当にありがとうっていうのを思いました。

だけど、そこから「じゃあこの状態で本当はこのコはあれだけ苦しんでいたのに本当はもう体を卒業してね、魂となってお空へ上がりたかったんじゃないかなっていうことをちょっとこうと思った時に、もうどうしようもなく自分の中で罪悪感が生まれてきて、もう自分で心の整理ができなくなってしまったんですね。

で、その時にこれを解消するには、もう「このコが本当にはその苦しい時期にどうしたかったんだろう」っていうことを直接聞くしかないと思ったんです。直接このコに聞かって言ったら、もうアニマルコミュニケーションしかないじゃ

ないですか？

全く見えない世界とか、信じてないどころか、いぶかしいぐらいに思ってたんですが、もう藁をもすがる思い「うちの子の気持ちを知りたい私は本当はやっ
ちやいけないことを、私のエゴのためにこのコを救っちゃったんじゃないか」
っていうそこの答え合わせがしたくて、私の気持ちを取り戻したくて落ち着か
せたくて、もうその妖しい世界って思っていたアニマルコミュニケーションの世界へ入って行ったんですよ。

で、そこでご縁あった先生のところへ伺って、ちょうどその日、「りこさん遠
くから来たからじゃあ小雪ちゃんとお話ししてみますか？」っていう形で、瞑
想誘導のようなことをしてくださったんです。

もう私は小雪と喋りたい一心なので「お願いします」っていう感じで、もう必
死になって先生の誘導についていきました。

何をどう誘導されたのかも、今全然思い出せないですけども、そこで小雪と
出会ったんです、その瞑想中にね。

で、私はもうとっさに「こゆちゃん、本当にあなたはどうしたかったの」って
いうのを聞いていました。

そしたら小雪から答えが帰ってきたんですよ。

「だって、私病気だもん、イイコイコちて」って。

「えっ!？」て思いました。

もう一回なんか聞き直しました。

でも、どうしても「イイコイコちて」って「私病気だから」って。

なんかもうまるで「私かわいそうでしょ？」っていうのを、もうこうビンビン
伝わってきてたんですよ。

ああそうか、私がこゆちゃん死なないでってあの時にやってて、24時間もう完
全看護のようにして、もう家事も育児も二の次にして、とにかくこのコを救わ
なくちゃってやってたもんですから、小雪はその味を占めたっていうか、そこ
でこの病気の状態だったらマミィからこんなにいっぱい可愛がってもらえて、
お手間は掛けてもらえて、愛を注いでもらえるっていうことを、今になったら
分かるんですけど、そういう状態が彼女にとっては本当嬉しかったんでしょ
うね。

その瞑想状態のときにね、「こゆちゃん、あなたそうそれじゃ困るんだけど、
ちょっと本当はどうしたいの？ちょっと、その『私病気だもんイイコイコち
てってのは、ちょっといい加減にしてくれない』っていうことを伝えました
その時に、私はそのワンコと私がニコイチになって、もう共依存してるなって
いうのをもうその小雪からの答えで、もうわかっちゃったんですよ。

あ、これは私が引き起こしたことだと思ってこれはいけませんと思って、その

時にさっと心の境界線を引きました。それは今でも覚えてます。

で、先生の誘導が終わって、「こゆちゃんごめん、先生も帰っておいでって言うてるからここまででね、またね」ガチャンみたいなそんな対話が初めての対話だったんですね。

で、そんなことがあってから実は3週間もしないうちにその骨と皮だった頭になんとお肉がモリモリとついてきて、またこの状態の小雪の姿に変わっていったというのが、私の初めてのアニマルコミュニケーションでの体験で、そういうことが起きたんですね、私はミラクルが起きたと思いました。

ご飯変えた訳でもない、薬変えた訳でもない、先生変えたわけでも何を変えた訳でもないんですよ、それなのに、ただ小雪と喋っただけ、そして、これはあまりにもこうこのコが存在に依存し過ぎちゃってるから、ちょっとそれはよろしくないから心の距離取りましようって思った。

ただ気付いただけ、それで病気が治っちゃう。

獣医さんが匙を投げるほどの重病がさくっと治っちゃう、こんな面白いことあるのかって思ったし、こんなことで病気が治っちゃうんだったら、みんな喋ればいいのに、もしかしたら私だけじゃなくって、あなたも、あなたも、あなたも、みんな良くなるかもよと思って。

これはもうみんなにお知らせし、知ってもらいたいっていうところから始まりました。それが十数年前です。

岡安 ありがとうございます。りこさんはそんな風にアニマルコミュニケーションの世界を知ったんですね。

りこ そうなんですよ。

岡安 そして、今やもうアニマルコミュニケーター育成をする方に進まれているということで。

りこ まさかまさかです。これも小雪が導いてくれた世界だと思っています。

岡安 岩本さんどうですか？アニマルコミュニケーション。今のお話聞いて。

岩本 そうですね、ちょっともっと早く知りたかったなって思いがありまして、自分も猫8匹飼っているということがあって、その前にも何匹か飼っていた経験もあって、中にはこうお空に飛び立ってしまったりだとか、あとは家出してしま

った猫とかもいたので、そういったコたちのメッセージを受け取って、そのときに何かできたんじゃないかなと思って、もう少し早く知りたかったなと思いつつも、今回あらためても学べるとかすごそうですね。

りこ その空に上がったこととか、その時にこうしてあげたら良かったんじゃないかっていう思いはアニマルコミュニケーションで聞くこともできますし、それを今いる8匹の猫ちゃんにやって差し上げるっていうこともできますので。

岩本 はい、今回学ばせていただいて、実践できればと思います。

りこ はい。

岡安 そして、今このアニマルコミュニケーションが、やはり必要ということなんですけど、なぜ、今アニマルコミュニケーションが必要なんでしょうか？

りこ えーと、昔、例えばワンちゃんをイメージしてみてください。私たちが小学生の頃、岩本さんは多分まだ生まれていないくらいお若いんですけど、まあと私、今54歳なんですけど、私が小学生の頃と違ってワンちゃん飼ってるって言えば、ほとんどのおうちが庭先に繋いだりとか、こう檻の中に入れていて、あのボコボコアルミ鍋のご飯の中になんかブツカケご飯みたいなのをいただいて、まその子たちのお役目ってこうそのお家の番犬だったりしたじゃないですか？

近所の人 came 時の吠え方と、誰々さんが来た時の吠え方が違うから、うちのコ便利でわかるのとかっていうのを私はよく聞いてたんですけど、そんな風に一昔前は、ペットっていうのではなくて、その動物の特徴を捉えて、お仕事役に立つお仕事っていうものをしてくれてたっていう存在だったと思うんですよ。

ところが、だんだんこうお家の中で飼う人っていうのが多くなってきて、でそうするともう寝食共にする一緒に寝てませんか？一緒に寝てますよね？

そうすると、もう本当家族のような形になりますし、さっき私が三人目って言いましたけど、ご自分のおコさんのように感じていらっしゃる方も多いと思うんですよ。

なので便宜上ペットという言葉使いますが、ペットっていう形になってきたのは、ここどうでしょう20~30年ぐらいですかね。

岡安 はい。

りこ だんだんこう家の中で家族っていう役割を果たしてくれるコたちが多くなってきて、そうするともう家族の一員として、私達飼い主も彼らのことを見るようになってきて、すると、彼らのお役目はもっともっと本当お子さんだったり、パートナーだったりっていう人間と何ら変わらない状態、関係性っていうのが築かれるようになってきていて、そしてここスピリチュアルだと『風の時代』とかって言われるようになったじゃないですか？

私は、たくさんのコたちとお話していると、そのコから聞こえてくる魂の中に内包されているようなメッセージまで聞こえてくるんですけども、そういうのを聞いていると、飼い主さんの今世のミッションのようなもの、飼い主さんが「今後の未来どうしていけばいいよ」っていうような、そういう『もっと深いメッセージ』そんなものをワンちゃんネコちゃん、ペットさん達っていうのは、「なんで知ってるの？」って思うんですけど、やっぱりピタッとそこへ後押しをしてくれるんですね。

例えば、私の例ですと、「小雪を失うかもしれない」ってもうどん底に落ちたそこからアニマルコミュニケーションにもしかしたらって思って話せるそしたら、私はずっと一生主婦で終わると思っていたら、何とアニマルコミュニケーターになっちゃって、しかも教えるなんて全然思ってなかったんですよところが、今プロを輩出しているところまで来ていて、これはやっぱり「小雪が運んできたものだな」っていうのを思っています。

なので、もうお空へ上がってしまった後が、彼らは特にこう深いメッセージがやってきて、そのコとのお別れがきっかけとなって、飼い主さんの人生が、すくっと好転していったりとかっていうことが、たくさん起きてきています。

岡安 りこさんの人生が、180度変わっちゃったきっかけを作ってくれたのが、小雪ちゃんっていうことですね。

今、ペットちゃんの位置づけが変わってきているということなんですけれどもさらに何か大きなポイントがあるということなんです。

りこ ペットたちの魂っていうのは、私たちの魂と深い繋がりがあるんじゃないかなっていうのをこうたくさんのお話しして感じていて、きっと私はペットショップで小雪と出会ったっていう現実の出会いはあるけれどもあの子との出会いっていうのは多分過去世でも何回でも繰り返しているんじゃないかなっていうことを感じますし、そういうケースをたくさん見てきてるんですね。

なので、今世ではもうこれでお空へお還しして犬と人っていう形で会うことはないのかもしれないですけど、また私たちも生まれ変わってきたりとかします

のでペットさんたちも生まれ変わってくるということで、いつかまたどこかで
出会うかもしれないっていうことを思っています。

そんな風に深いところでもう私達の自覚はないけれども、ただのご縁じゃない
っていうのをただならぬご縁っていうんですかねっていうのを感じるコたちの
ことを『ソウルペット』とこれ私が名付けたんですけど、ソウルペットってい
う風に呼んでいます。

岡安 人間っていうソウルメイトのような？

りこ そうだと思います。より深い繋がりがあるということですね、そうするとじゃ
あ何度も過去世から出会い続けているっていうことは、うちのコ運命のコなん
じゃないのって思うコっているじゃないですか？

岡安 その子は本当に運命の子だったってということなんですか？

りこ そう“ピンツ”て来たんだったら本当にそうだと思います。
岩本さん8匹もいらっしゃって、過去にもたくさんいらっしゃるってことなの
であの8匹を分け隔てするわけじゃないけど、なんかこのコっていうことかっ
ていませんか？

岩本 おっしゃるとおりです。
黒猫なんですけど、初めて8匹の中で最初に出会った猫なんですけど、そのコ
に関してはやっぱりこうみんなお互いにこう仲が良くて、お互いをこう愛しあ
ってるみたいな感覚があるので、ちょっと特別な感じはしますね。

りこ はい、特別な関係の運命のこのコっていうコがいらっしゃるんじゃないでしょ
うか？

岡安 運命のこのお話ということで、すごくいいお話をお聞かせいただいたんですけ
れども、実際にペットちゃんを飼ってるとりこさんがお悩みがたくさんあった
みたいに、たくさんお悩みを抱えている方っていうのもいらっしゃると思うん
ですよ？

りこ そうですよ、「可愛いけど・・・」っていうのはないですか？

岩本 はい、でもカワイイでいつも許しちゃいます。
可愛いけど・・・っていうのは、たくさんも問題は数えきれないほどあるので
あれは解決できないんですかね？

りこ おトイレ外してくれちゃったりとか。

岩本 8匹飼っていると結構もうトイレも永遠にやってるみたいな感じで、このコがしたらトイレ掃除終わったらまた別のコのトイレみたいな。

りこ そうですよ、ニャンコの数プラスアルファトイレの数ってどうしても必要になるので、おうち中トイレみたいな(笑)

岩本 そうなんです。

りこ トイレとケージみたいな(笑)
もうニャンコ部屋に人間が居候みたいな

岡安 例えば無駄吠えとか、噛みつき、引っかく、ものを壊す、トイレの失敗、今もお話ありましたよね？そしてあと岩本さん、猫ちゃん家出しちゃったっていう話があったと思うんですけども。

岩本 戻ってこないコとかもいましたし、また家出して戻ってきたコもいるんですけど。

りこ 良かった。

岩本 それ何で家出したのかとかもやっぱり気になったりはします。

りこ (その理由)わかりますよ。聞いてみると、僕は何か嫌だったんだよとかって言われたりはします。

岩本 やっぱり家出したコの中でも、いなくなってこの世から去ってしまったのか、もしくは他のもっといい飼い主の方に出会って幸せに暮らしてるかとかもやっぱり知ることができないので、なぜ家出したのかっていうのを知ること、そのヒントになるんじゃないかと思ったりはしますね。

りこ 家出だけじゃなくって、たまたま帰れなくなっちゃった迷子ちゃんかもしれないですね。
うん、その辺も聞いてみるとわかってきます。

岩本 わかるんですね。距離とかは関係ないんですか？

りこ 関係ないです。地球の裏側の方ともセッションできます。

岡安 あれですよね、トイレ失敗しちゃったりとか吠えたりすると「ダメじゃない」なんて言っちゃう時とか「あ～あ」みたいに思っちゃったりする時ってありませんよね？

りこ ですねこう吠えたり、噛みついたり、おトイレの問題っていうのが、私が思う問題三大大行動かな、お悩みとして多いものかなって思うんですけども。例えばそのおトイレの問題って言っても、そのわざと外してるコとかいません？

わざわざ、なんかこうチラチラ飼い主さんの方を見ながら、わざとトイレの縁から外れてしたりとかっていう、もうそういうコ見てると多分飼い主さんは、「何か言いたいことあるんだろうな」っていうのはアニマルコミュニケーションをご存じなくても、たぶん「なんで？何を言いたいの？」っていうのを思われてると思うんですよね？

やっぱそこはちゃんとトイレ外したその行動ことには、ちゃんと意味があったりするんですよね。

なので例えばですよ例えばなんですけど、8匹いらっしゃるとするその中で甘え上手なコはいいですよ。すごい本当は内心すごく甘えたいのに甘え下手なコ、アピール下手なコ、あるいはちょっと控えちゃって他のコを優先するコとかっていうのはいらっしゃるでしょ？

そういうコがおトイレ外すとかっていう時だと、本当はもっとアピール上手のコみたいにもっといっぱい可愛がってほしい、もっと自分にこう関心を向けてほしいっていうことかもしれないけど、でそこはですね、飼い主さんと実は合わせ鏡になってるっていうことがあるんですよ。

はい、例えば今の事例ですと、そのおトイレ外しているコは本当はもっと甘々してもらいたい、僕が一番に思ってもらいたいって内心思ってるんだけど、表現下手、甘え下手、そのまま飼い主さんがそうかも知れません。

岩本 確かにちょっと甘えたい時が、思い当たる節があるかもしれません。

りこ こう人をお願いしてみたいとかっていう時も、なるべく自分で頑張っておこうとか、我慢しようとか、自分を後にしたりとかっていう思考のくせとかっていうのがあると、それをそのまま猫ちゃんがやってくれて見せてくれるっていうことがあるんですよ。

岡安 ただのトイレの失敗じゃないんですね？

りこ ちがいます。飼い主さんを映している飼い主さんの内面を。そういう見方をすると凄く面白くないですか？

岩本 面白いです。ただ僕がちゃんとできるようになっても、猫が直ったりとかはしないですか？

りこ しますします。
表現をこうしっかりしていくっていうことを変えていかれると、外さなくなったりするんです。

岩本 そうなんですか？

岡安 じゃあ、岩本さんが甘えられるようになったらペットちゃんが、トイレを上手にできるようになることもあるということですか？

りこ はい。

岩本 じゃあ、僕次第で結構猫が変わったりとか、逆に猫次第で僕自身が変わるっていうことも。

りこ そうです、そういうことです。
だからお互いですよね、鏡なのでお互い、うん。

岩本 なんかコミュニケーション以上のものをすごい感じるんですけども。

りこ そうすると、「もっともっとうちのコと関わろう」とかって思いませんか？
「もっとこうこのコの内面をもっと知ってあげよう」とか「気持ちをもっとこう知ってあげよう」とかって。
それを汲み取って理解してあげるだけで、「も～」って拭いていたことをやらなくて済む。
私たちもハッピーだし、猫ちゃんも「も～」って言われなくてハッピーということなんですよ。はい、今のは分かりやすい事例なんですけれども。

岡安 そんな感じで『ペットちゃんと飼い主さんは合わせ鏡』っていう視点でペットちゃんとお付き合いしたことがないと思うんですけども、ぜひね、そういう視点でご覧いただけたらと思います。
そして他にも多いお悩みなんですけど、山本さん例えばどんなお悩みがありま

すか？

岩本 そうですね、もう引っかいたりとかはよくあるんですけど、やっぱり先ほどもお話ししたように深いところにはなってしまうんですけど、実際にこうペットロスっていうのを経験したりとか、あとはそれこそ家出して帰ってこなかったコがその後どうなったのかとかは長期的に悩む、もしくは悩みが消えないみたいなこともありますね。

岡安 そうですよ、確かに「お空に還ったコのことを忘れられない」ですとか、「このコがいなくなったらと思うと不安でいっぱいはどうしていいのかわからない」なんていうお話よく聞きますよね？

りこ 私のところにスクールにお越しくださる方も、半分以上がお空に還されたことペットさんを亡くしたことがきっかけだと思います。アニマルコミュニケーションでもう一度話ができるんだったら、もう一度話したいって思いますよね？

岡安 お空に還ったコともう一度会いたいっていうのは、もう皆さんの永遠の願いですからね。

りこ そこで、
「どうしてその日に逝ったのか」
「あんなに苦しみながら逝ったのか」とか
「どうして還ってこなくなっちゃったの」とか
色々な思いが飼い主さんの中でおありなので、それをお空のコとコミュニケーションして、お互いに気持ちを確かめあって「こういう理由だったんだよ」っていうことを飼い主さんが受け取られることで、安心されて、「あ、これで良かったんだな」って。

岡安 じゃあ、アニマルコミュニケーションっていうのは、『今お家にいるコ』とも、もちろん繋がれる、そして『家出とかしちゃってどこに行っちゃったかわからないコ』とも繋がれる、そして『お空に還ってしまった天国にいるコ』とも繋がることができるっていうことなんですか？

りこ そういうことです。

岡安 岩本さんも猫ちゃんを過去に亡くされたことがあるということなんですけれども、そういう時とか、ひょっとしてこのコもけっこう年齢がいつてきちゃってるんで・・・なんていうそういう不安の時とか、どんなお気持ちでしたか？ど

んな風に対処されていませんか？

岩本 それこそ「奇跡が起きればいいな」っていうのは、つくづく、常々思っていましたし、お別れする前から、もうそのお別れする姿みたいのが浮かんできまして、それと同時にこゝろ涙が想像で止まらなくなってしまったりっていう気持ちになってまあちょっと不安な状態、焦り不安悲しみみたいないろんなこゝろマイナスの感情が常にこゝろ動いてるっていう感じでした。

りこ そうですよね、ところがお空へ還って行くその時っていうのは、猫ちゃんたちが自分で決めているんだって思ったらどうですか？

岩本 それだとしたら何かこゝろ意味があるのかなとか思ったりはします。

りこ そうですよね、じゃその日に旅立った意味が知りたいとか思いませんか？

岩本 思います。

それこそ今逝ってしまったコたち、これからも結構僕の飼ってる猫たちは、もう10年以上はこれからもかなり多く別れを経験すると思うんですけど、そのコたちがこゝろ旅立つ時に何を伝えたいのかっていうのを知りたいって思いもありますし、これまでのこゝろ自分とかかわってきてくれた猫たちあとは犬も飼ってたんで犬たちがこゝろどういう思いで、どういうことを僕に対して思ってくれてどういうメッセージを伝えていったのかっていうのは思いますね。

岡安 それもアニマルコミュニケーションでわかるんですか？

りこ はい、です。

で、そうするともっと深いところでそのコと信頼関係が結べるようになります。

岡安 ペットちゃんっていうよりは人間みたいですわね。

りこ 相棒です！

岡安 人間よりももっと深いんじゃないかなっていう繋がりになりますよね。

りこ はい、もっともっとか例えでご家族でこゝろ自分の気持ちを全部こゝろ洗いざらいお話しできるっていうご家族もいらっしゃるでしょうし、そうじゃなくて、もうとても表面的なところだけで会話するっていうご家族もいらっしゃると思うんですが、ペットっていうのは、ものすごくこゝろ深いところそれこそ飼い主が自分で気が付いてないところまで、彼らはしっかり見てくれています。

なので自分の指導者みたいな先生みたいな感じなんですよ。

「これからこうなってくよ、だから頑張るって」とか、じゃあこれでいいのならちょっと頑張ろうとかって思いませんか？

岩本 思います。

それこそ今話を聞いて思い出したのが、昔かなり辛い時期みたいな時があって、その時にこう誰にも相談できず一人でこう部屋に閉じこもるみたいなことがあったんですけど、その時に来てくれるのが猫ちゃんたちで、何でしゃべってもないのに自分がこう辛かって思いが分かってくれるんで、すごい励まされてまた明日から頑張ろう、今から頑張ろうって気持ちになれたので、すごいその感じる力みたいなすごいって思ったことはあります。

りこ そうなんですよ。

岡安 そこでもし会話ができたならもっと深く繋がりますよね？

岩本 確かにそうですね

岡安 ペットたちはたくさんのメッセージを届けてくれています。
あなたが幸せになるために・・・ペットとお話したくなりますよね？
こういうお話聞くと。

岩本 いやあなりますね。

りこ すぐ帰りたくなりませんか？

岩本 誰としゃべろうかなって。まずは誰としゃべって、その後誰としゃべってっていう楽しみで仕方ないです。でも、まだいるんで安心してください。

りこ はい

岡安 そしてアニマルコミュニケーションができるようになると、

- ペットのしてほしいことがわかるから、一緒の時間がもっと楽しくなる。
- ペットの体調不良に気付きやすくなる
- お空に還ったことも繋がれる
- ペットからのメッセージであなた自身の人生がもっと輝き出す

しかもこのアニマルコミュニケーションのスキルは、一度覚えたら一生使えるんですか？

りこ そうです。もう身につけるものなので。

岩本 一生ですか？

りこ はい、ずっと使えます。

岩本 ぜひ獲得したいです。

岡安 そうですよ、8匹の猫ちゃんと繋がりたいですもんね。

岩本 繋がれるってことですかもんね

岡安 お空に還っても繋がれるんですものね、これはすごい財産ですね。

岩本 そんなものがあるのかとても驚いています。

りこ 楽しみにしててください。

岡安 とはいえ、どうやって話すの？アニマルコミュニケーションって難しそうって思ってたしやる方も多いのではないのでしょうか？

詳しくは次回お伝えさせていただきたいと思います。

次回アニマルコミュニケーションとは何か、誰にでもできる理由を公開させていただきます。

そしてアニマルコミュニケーションプログラム hug★では、体験プレセミナーを開催しております。

冒頭にもお話しましたがけれども、ぜひご参加いただけたらと思います。

それでは、本日のアウトプットをお願いいたします。

アニマルコミュニケーションのイメージは？

そしてペットと話せるようになったら最初にどのコと話したい？ということで岩本さん、アニマルコミュニケーションってどんなイメージですか？

岩本 そうですね、合わせ鏡という言葉がすごい自分の中では印象に残っていて、猫のいたずら行動だったりとかはたまたまこうお空に旅立ってしまうというところも全部こう自分に関する自分に関わることなんだっていうのがとても驚きでした。

岡安 ペットちゃんと話せるようになったらどのコと話したいですか？

岩本 全員と喋りたいんですけど、やっぱりこうまずは一番こう仲の良い黒猫ちゃんがいるので、そのコトをおしゃべりして「本当にまず自分のことが好きなのか」「何で好きなのかというところ」を知った上で、僕も「どういうところが好きなのか」伝えていきたいなと思います。

りこ ぜひ、愛を確かめ合ってください。
ソウルベッドさんだと思いますよ楽しみです

岡安 はい、この動画をご覧のみなさんも、今のようなコメントをお待ちしております。
この動画の下にコメント欄がございますので、本日のアウトプットという形でご記入いただけたらと思います。
もちろんりこさんも私たちも全部拝見しておりますので、素敵なメッセージもお待ちしています。
コメントをお寄せいただきますと、ここでしか手に入らないすごい特典が貰えますので、是非一言でも良いのでコメントを書いて頂けたらと思います。
それでは Session 1 は以上となります。
最後までご覧いただきましてありがとうございました。